



ボランティア団体の活動を紹介します！

福寿会



4月28日（月）に地域福祉センター・ドリーミーの美化活動を行いました。

今年は、雪のせいか草の成長も遅いようでしたが、正面玄関を中心に草取りを行いました。

すずらんの会



ボウリングみたいに思っ
とったけど・・・ちょっと
違うなあ

4月24日（木）、すずらんの会総会・レクリエーション研修会を行いました。

レクリエーション研修では、モルックというフィンランド発祥のゲームを楽しみました。（木の棒を投げて、1から12までの数字を倒すことで得点を競い、50点ピッタリを目指します）



若桜町赤十字奉仕団



4月17日に若桜町赤十字奉仕団の総会を開催しました。



総会の後に、「フレイル予防と楽しい体操」の研修会を行いました。ちょっと動いただけなのに汗が出ました。

鳥取県

模擬訓練が功を奏し
災害時のスムーズな対応を実現



左：救急法受講時に心肺蘇生法の
手順を学んでいる様子
右：団体研修で穴原防災センターを
見学する奉仕団

積極的な講演会や研修参加で災害時に備える

平時の活動としてはチャリティーバザーを催し、その収益を高齢者や福祉事業に寄付するほか、災害時に役立つ
実技として心肺蘇生法や耐熱性ポリ袋による炊飯実習などを実施。1年を通して様々な活動を行っています。地域
との連携を強化するため、広報誌に活動報告を掲載して防災意識の向上にも取り組み、また、他団体の講演会や災
害時の人権学習講座にも積極的に参加するなどして災害時に備えています。

若桜町役場が主催する防災訓練には毎年参加しており、令和4年10月には支部職員とともに県社会福祉協議会が開
催した2日間の災害ボランティアセンター運営者研修にも参加。災害ボランティアセンターの全体体制を把握するととも
に、ロールプレイングの模擬実習を行うことにより、非常時に必要な知識や対応を体得することができていました。

平時の活動が
災害時の被災者支援

あったからこそ
につながりました！

災害時と平時の活動のつながり

平
時

災
害
時

左：災害ボランティアセンター
で受付業務に従事する団
員たち
右：佐治町で発生した豪雨災
害時の被災地の様子



災害支援の現場から平時訓練の重要性を再認識

令和5年8月に佐治町で発生した豪雨災害では、県支部からの要請を受け、鳥取市災害ボランティアセンターの
受付業務に協力。5日間で延べ6名が参加しましたが、運営者研修での模擬実習が実際の業務で大いに役立ちまし
た。センターの全体体制を把握できていたので効率的な流れ、必要な物品の洗い出しをはじめ受付体制の改善点も
見出すことができました。また、現場の団員がメールで状況報告したことで、次の担当者が安心して臨めたのも実
習があったからこそと思っています。平時からの連携や研修の重要性を改めて認識しました。

災害時には他団体の支援も多いことを知り得たので、今後は他団体との連携も強化し
つつ、若い世代も巻き込んで誰もが安心して暮らせる町づくりを目指していければと
考えています。

若桜町
赤十字奉仕団
伊井野さん

全国の赤十字ボランティアのための情報誌に、若
桜町赤十字奉仕団の取組みが掲載されました。

「災害時と平時の活動のつながり」をテーマに、
平時の活動を災害時の被災者支援につなげた事例や、
災害時に備えた平時の活動についての特集記事で、
平時の研修・訓練への積極的参加等が功を奏し、令
和5年8月に佐治町で発生した豪雨災害での災害ボ
ランティアセンター受付業務に協力した際にスム
ーズな対応が実現できたことや、訓練の重要性を再確
認できたこと等が紹介されました。

情報誌は、左記のQRコードからアクセスしてご
覧いただけます。



若桜町ボランティアセンター（若桜町社会福祉協議会）

TEL 0858-82-0254

FAX 0858-82-1204